

双葉町 津波 ハザードマップ


避難行動のポイント！

地震発生 大きな揺れがあったら 避難情報を待たずに避難！！

1分～5分

- 揺れが収まるまで待機！
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保！
- 家族の安全確認！
- テレビ、通信会社などから情報収集！
- 非常持ち出し品の準備！

避難情報

危険！ 津波の危険がある場合	注意 津波の危険がない場合
<p>【避難行動の開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所へ避難！ 原則徒歩で避難！ 高齢者や心身に障がいがある方などの避難を手助け！ 後から来る津波で被災しないよう、随時、ラジオなどから情報を収集！ 	<p>建物の倒壊に注意しながら、まわりの方と協力して消火、救助活動。</p> 

避難時の心得と注意事項！

- ①「遠くへ」ではなく「高い所へ」避難する
- ②津波警報を見たり聞いたりしたら直ちに逃げる

避難場所などへ避難が困難な場合は、「遠く」より近くの「高い」場所へ避難しましょう。

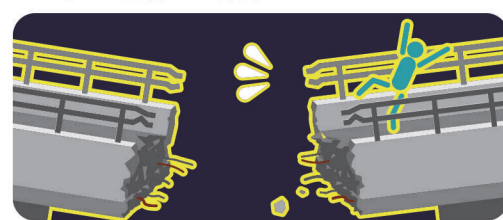
津波警報が発表された場合は、津波の到来が切迫された状態です。すぐに避難をしましょう。



- ③自動車での避難は、なるべく避ける
- ④道路や橋の通行に注意する

渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れる可能性があります。

大規模地震のあとに道路の陥没や亀裂、橋が崩落している可能性があるため、十分に注意して通行する必要があります。



津波に関する警報・注意報の分類と取るべき行動！

津波発生の危険性がある場合は、気象庁より地震発生から約3分後に津波に関する警報・注意報が発表されます。

発表の種類	予想される津波の高さ		取るべき行動	想定される被害
	数値での発表基準	巨大地震の場合の津波の表現		
大津波警報 (特別警報)	10m 超 10m 3m 超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m 以下	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m 以下	(なし)	海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸付近に近付いたりしないでください。1mの津波でも生命の危険があります。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。

津波の特徴！

巨大な威力！ 津波は地震で押し上げられた海水が塊となって沿岸に押し寄せます。家屋など一気に海中へ引き込まれます。津波は川を逆流するため河川にも近づかないでください。

スピード！ 津波は海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。陸上をさかのぼる時の速さは、オリンピックの短距離走者並みの速さです。津波が見えてから走って逃げ切ることは困難です。

繰り返し！ 津波は繰り返し襲ってきます。第1波よりも第2波が大きくなることもあります。一度、波が引いても津波警報等が解除されるまでは、避難を続けましょう。

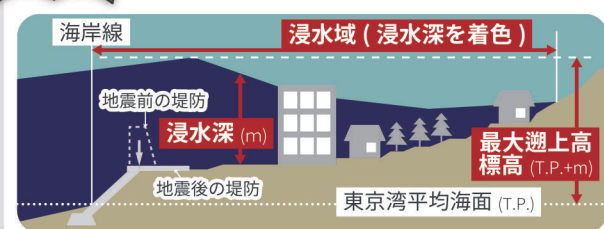
【留意事項】

- このハザードマップに関する詳細な説明については、「津波浸水想定【解説】※」をご参照ください。
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下（満潮時・地盤沈下あり）において発生した場合に想定される最大の浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 津波浸水想定は、「何としても人命を守る」という考えの下、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深等は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 浸水域や浸水深等では、地面の凸凹や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- 津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を着色していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う津波の浸水区域（実績）は、地震後の航空写真等により、津波の到達・浸水した区域を判読したものです。
- 「津波浸水想定」は、平成23年東北地方太平洋沖地震の地盤変動を考慮した地形条件とし、平成30年度末時点の復旧事業を反映しています。

※ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045a/tsunami-shinsuisoutei.html>



最大遡上高と浸水深の模式図



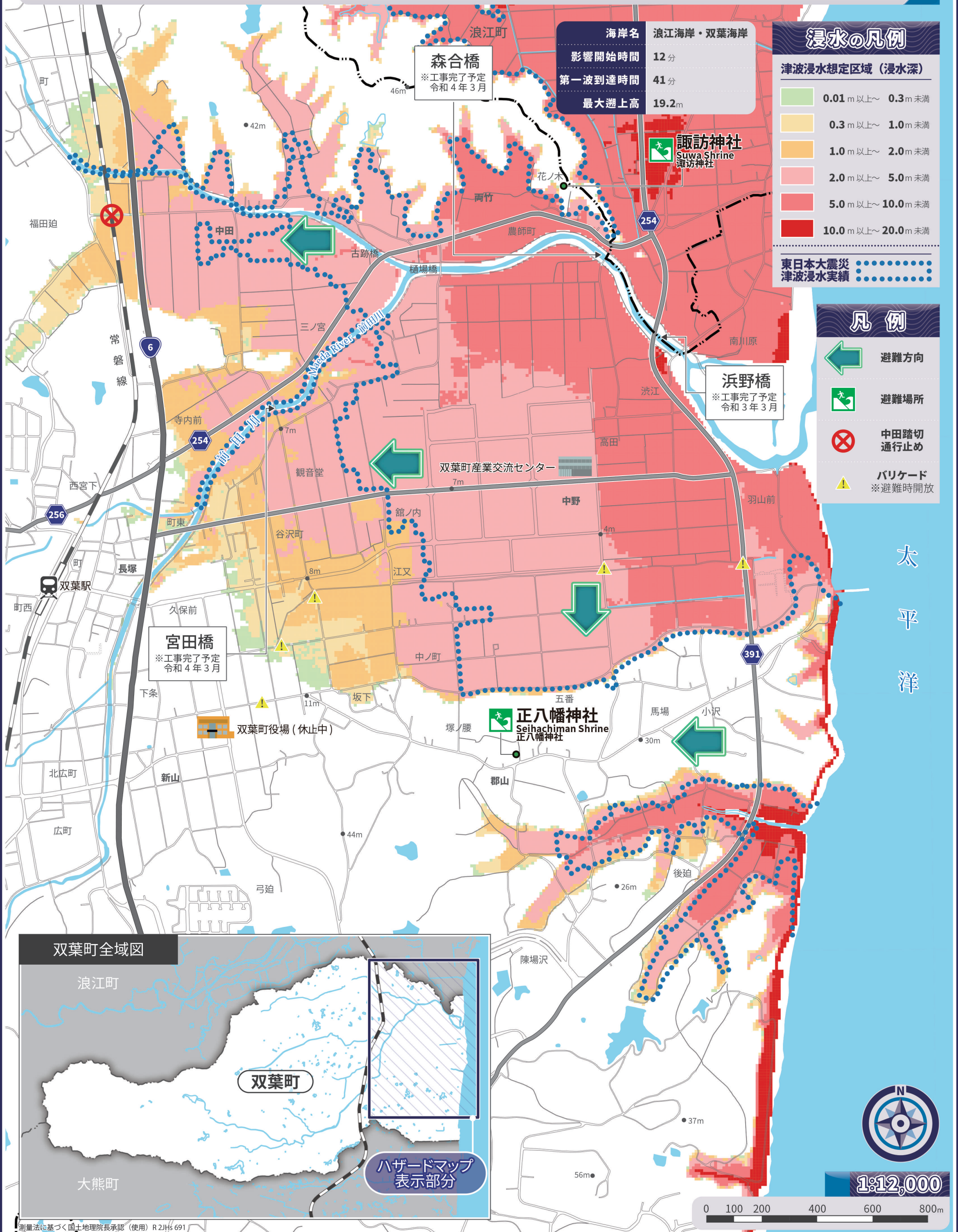
避難所？避難場所？

避難所は、その後の避難生活を送るための場所なので、切迫した災害の危険から逃れるための避難場所とは異なります。

避難場所（諏訪神社と正八幡神社）に避難してください。

「高い所に逃げる！」 Escape to a high place! 逃到高处

「西へ逃げる！」 Run west! 向西跑



海岸名	浪江海岸・双葉海岸
影響開始時間	12分
第一波到達時間	41分
最大遡上高	19.2m

浸水の凡例

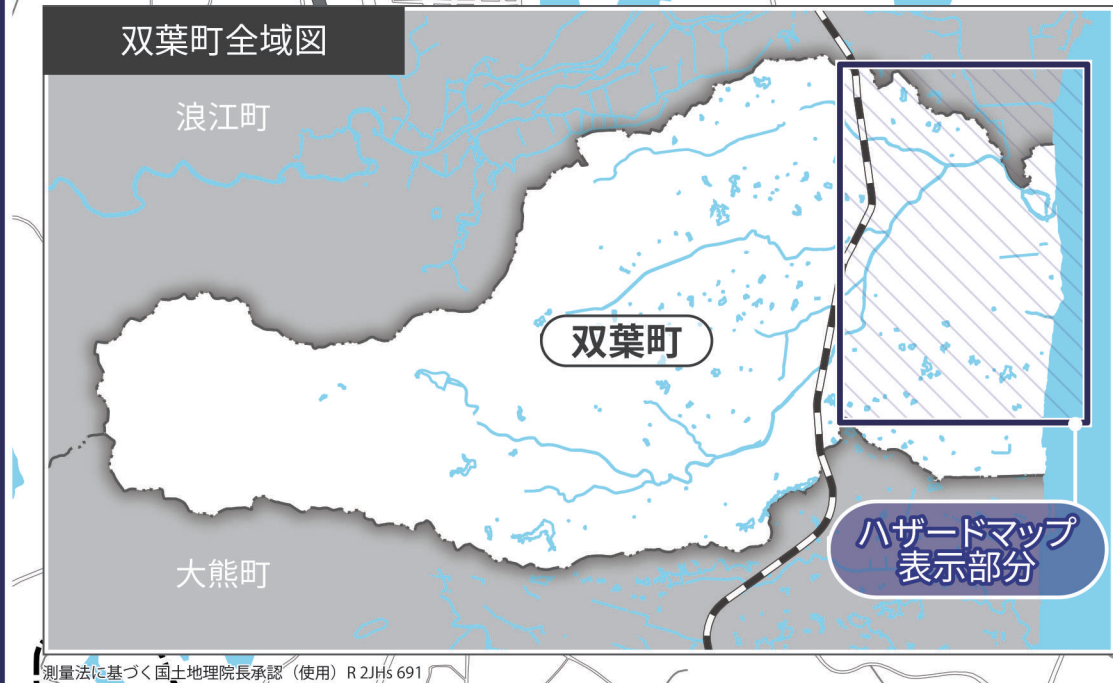
津波浸水想定区域 (浸水深)

0.01 m 以上～ 0.3 m 未満
0.3 m 以上～ 1.0 m 未満
1.0 m 以上～ 2.0 m 未満
2.0 m 以上～ 5.0 m 未満
5.0 m 以上～ 10.0 m 未満
10.0 m 以上～ 20.0 m 未満

東日本大震災津波浸水実績

凡例

- 避難方向
- 避難場所
- 中田踏切 通行止め
- バリケード ※避難時開放



測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R2JH5 691